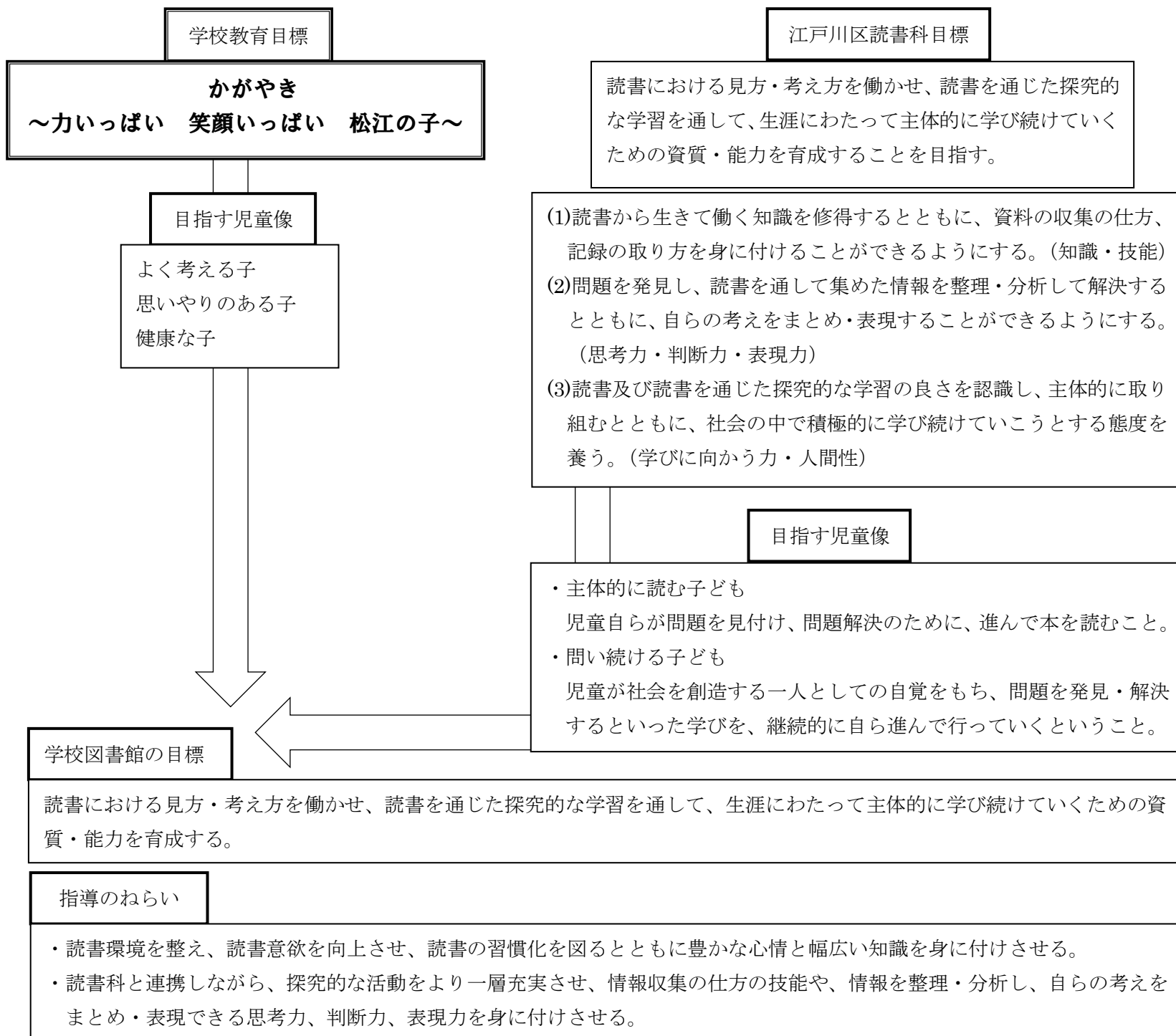


学校図書館全体計画



特色ある教育活動		
読書科の推進 ・1時間単位の時間を12単位時間/年 ・学校図書館や松江図書館を活用して情報収集能力を育成し、探究的な活動の充実を図る。 ・低学年は「えほんのもり」を活用し、言語環境や読書環境を充実させる。	I C T機器の活用 ・学校図書館とパソコン室を一体とした機能を活かし、学習・読書・情報センターとして探究活動をより一層充実させる。	家庭・地域との連携 ・保護者による読書ボランティアが、朝読書の時間に読み聞かせを実施する。また、学校図書館司書と協力して学校図書館の整備や、掲示物を作成し読書への啓発を行う。 ・地域の松江図書館と連携し、図書館訪問、レファレンス等を通じて読書環境を整える。
朝読書 ・23単位時間/年	読書月間 ・年2回の読書月間を実施	図書委員会 ・読書月間に読み聞かせやポップ作りを行う。
異学年交流による読み聞かせ ・3学期にペア学年間で読み聞かせを実施	年間の読書目標冊数の設定 ・学年ごとに読書目標冊数を設定	教師による読み聞かせ ・読書月間に全校教師による読み聞かせを実施
おすすめの本紹介 ・児童、教員、学校図書館司書で実施	青少年読書感想文コンクール参加 ・全学年で参加	中学生による読み聞かせ ・中学生が小学校に来校し、読み聞かせを実施
調べる学習コンクール ・全校を対象に保護者に参加を呼びかける。4年生以上の児童には、夏季休業前に事前指導を実施。高学年の応募が多数。		小中連携プログラム ・重点を「図書館・図書資料の活用の仕方」として、小中で連携して取組を実施。